



Lions Clubs International District 336-B 7R-1Z

6LC合同会報誌



ライオンズクラブ国際協会336-B地区

地区アクティビティ・スローガン 『**“心技一体” 地域を元気に!**』

地区ガバナー・スローガン 『**和合**』

新年のご挨拶

7R1Z ゾーンチェアパーソン
上杉 榮一



新年あけましておめでとうございます。皆様には穏やかな新年をお迎えのことと存じます。

ゾーンチェアパーソンを拝命して、半年が経過しました。

各クラブへの例会訪問では、丁重にお迎えいただき心より感謝申し上げます。例会の進行は基本的にどのクラブも同様ですが、それぞれ工夫を凝らした内容は、大変参考になりました。

そして、台風進路を気にしながら開催した「ガバナー公式訪問」も皆様のご協力のもと、恙なく終えることができました。

コロナ渦の3年間は、活動の停滞に伴い会員の退会が相次ぎましたが、令和5年5月に感染症法上5類に移行して以降、新入会員は増加傾向ですが、退会者も同様でかろうじて現状を維持している状況です。

新規会員の加入促進はもとより、退会者を如何に止めていくのか、今後の大きな課題と考えます。そのためには、会員にとって所属のクラブが有意義で楽しいものではなくてはなりません。

ライオンズクラブは、世界最大の奉仕団体といわれています。

私は、奉仕活動(ボランティア)は、二通りあると考えています。

一つは、町内会や自治会、PTA等のボランティア、一般的には役員と呼ばれていますが、地域や学校の社会教育活動におけるボランティア、できればやりたくないが、やむを得ず活動している「減私奉公型」のボランティア。

一方、災害ボランティアのように、自ら進んで被災地に出かけ、復旧作業等に従事するボランティア「モチベーションアップ型」があると考えます。

翻って、私たちのライオンズクラブはどうでしょう。

会費を支払い、毎月の例会に参加することに負担を感じてはいませんか。自ら進んでボランティア活動団体であるライオンズクラブの会員であることは、クラブの活動が楽しく充実してなければ長く続きません。

会員の加入促進と退会者の減少防止には、ライオンズクラブの魅力向上が不可欠です。

各クラブに於かれましては、一層の魅力向上と参加することが楽しいクラブになるよう、引き続きご協力をお願いいたします。

今年度も後半となりましたが、皆様のご協力のもと全力で取り組むことをお約束して年頭の御挨拶とします。

風紋

鳥取ライオンズクラブ

会長スローガン 「魅力的で活力あるクラブで地域を元気に」

新年のあいさつ



鳥取ライオンズクラブ 会長 西尾 慎一

会員の皆様、新年おめでとうございます。謹んで新春のお喜びを申し上げます。

新年を迎え、2024-2025年度も丁度折り返し点、前半に計画された奉仕活動等の事業や行事は予定通りに行う事が出来ました。これも偏に皆様方の一方ならぬご努力ご協力の賜物と感謝申し上げる次第でございます。

さて、私たちはライオンズクラブの原点に立ち返り、“We Serve”のモットーの下、世界最大の奉仕団体であるという存在意義をしっかりと地域社会に知らしめなければならないと思います。そのためには、クラブが元気であること、メンバー全員がしっかりとライオンズクラブについて知ること、そして地域社会のニーズをしっかりと把握しどう奉仕活動をすべきか考え行動する事が重要であると考えております。

残された期間、魅力的かつ活気有るクラブを目指して、又、地域の方々から必要のあるクラブとして認識されるように頑張っていきますのでどうか宜しくお願いいたします。

この新しい年が会員の皆様にとってより佳き年となりますよう心より祈念しております。



鳥取ライオンズクラブ 幹事 古田 昌己

今年度、鳥取ライオンズクラブ幹事を拝命いたしました古田昌己と申します。

私なりの理解では、クラブ幹事には、会長を補佐し、クラブ運営が円滑に進むようにするという役割があるものと考えております。私の能力や経験からすると、そのような役割を十分に果たすことができるかは疑問がありますが、まずは与えられた役割を一生懸命果たそうとする心構えを持つことが大切だと考えております。

当クラブは、アクティビティとして、新しくやり始めたものやこれから始めようというものがあります。また、従前より継続して行っているアクティビティもあります。どのアクティビティも社会奉仕を旨とするライオンズクラブの活動として誇れるものです。そのような活動を充実したものとするにはやはり会員の皆様の結束や協力が必要となります。負担ばかりとなってしまえば、会員の皆様がやりがいを感じないということになり、新たな会員の獲得にもつながりません。したがって、私としましては、会長のサポートを通じて、会員の皆様が楽しくクラブ活動ができるよう心掛けたいと思っております。

本来の幹事として求められる役割を追い求めつつ、私なりに、クラブの一員としてできることを精いっぱいさせていただく所存です。皆様のご指導ご鞭撻のほどどうぞよろしくお願い申し上げます。



街頭献血活動に参加して

会員委員長 福家 成夫

12月8日(日)10:30~16:00イオンモール 鳥取北店1Fにて街頭献血活動を行いました。例年どおり、鳥取ライオンズクラブの黄色いジャンパーを着て、胸にプラカードを掲げての献血協力呼び掛けを行いました。今年も3つの時間帯に分けて、参加メンバー8名(少数精鋭部隊です)で分担しました。また、学生ボランティアの方が4名も参加され、元気な声で献血協力に貢献して頂きました。当日はあいにくの雨と強風で客足が遠のくのではと心配しましたが、季節柄でしょうか、店内は家族連れを中心としたお客でにぎわっており、駐車場もほぼ満車でした。(自分の車を駐車する所がなかなか見つからず、多に焦りましたが…)

その結果、実績は、53名の受付中、51名の献血をあげることが出来ました。昨年が58名受付、54名献血と少し下回りましたが、目標の50名達成できて喜ばしく思います。(会員自身が献血された方も数名で目標達成出来ました、ありがとうございました)

今回、参加されたメンバーの方、お疲れさまでした。また、献血にご協力いただいた方、ありがとうございました。来年は、目指せ60名ですね。



新たなアクティビティの開拓

青少年健全育成委員長 小林 紀子

昨年は、初めて「ポレポレキッズ」という新たなアクティビティを手掛けました。ポレポレキッズとは、鳥取大学の学生が中心となってやっている活動で、子どもと学生や大人が体験的で継続的な活動を通して育ちあうことを目的とするものです。宿泊体験やデイキャンプといった活動を行い、非日常的な活動を通して、子どもの育成、青年の自己啓発と地域の青少年育成活動の活性化を目指しています。鳥取ライオンズクラブもその活動に参加し、人的・財政的支援を行ないました。

もう一つは、まだ検討中ではありますが、NPO法人「こども未来ネットワーク」の活動に対する支援です。この団体は、0才から小学生までを対象に、こどもの感性を育てる「アートプロジェクト」、大人の理解がこどもを守る「メディアプロジェクト」、おもちゃはこどものパートナーの「トイプロジェクト」を行なっています。幼い時の子育ては母親にまかせっきりという家庭も多いと思いますが、0才からプロの芸術に触れさせようとするアートスタートを始め、スマホ時代の子育てのあり方を勉強したり、ネットからのこどもの被害を食い止めるためのネットパトロールや、木のおもちゃを



使った体験会などここに書き切れないほどの取り組みをしておられます。10月には3名の方が例会においになり、活動アピールをされました。活動の中心は忙しいお母さんたちであるため、力仕事や受付などに人手が足りていません。こどもは目を離すことが出来ませんので、見張り役でもいいそうです。また、公的な補助金が減少しており財政的な支援も必要なようです。今後検討を重ね、支援できるようになれば良いと思っています。



若草学園とのイモ掘り大会

指導力育成委員長 松本 匡司郎

私がライオンズクラブに入る前から、数十年続いているアクティビティです。クラブ全員が携わるのは、6月に行なう畝づくり、雑草対策のマルチシート掛け、苗付け、8月の雑草取り、10月の芋づるの刈り取り、マルチシート剥がし、芋掘りなどが主なものです。あまり知られていませんが、それまでの準備はL船越が1人でやっておられます。それは、種芋の植え付けから始まります。前年収穫したイモのうち、元気そうなものを種芋として3月に土中に埋め込みます。まだ気温が低い時期なので発芽を促すために土中に熱線を埋め込んで保温します。それを苗になるまで育てて、植え付けに繋いでいくということです。一連の流れを見ると苗づくりから収穫まで7ヶ月かかるんですね。焼き芋を食べられることに改めて感謝申し上げます。

この写真は、芋掘り当日の写真です。マルチシート剥がし、イモ弦の伐採、イモの掘り起こしまで一気にやりますので、体力が続きません。今回は8人で作業しましたが、翌日は仕事になりませんでした。今年の出来は、まずまずと言ったところですが、一番難しいのは、掘り起こしの程度です。完全に引っこ抜くとイモ拾いになってしまいますし、起こし足りないと、こどもの手では抜くことが出来ません。これは経験を積みしかないですね。また、イモを掘り起こす時に、二人一組で両方からスコップを入れるのですが、思いがけないところに根を張っており、イモを切ってしまうことがあります。これも慣れしかありません。このイモは11月に学園で行なわれる焼きイモ大会で振舞われます。何度か参加しましたが、豚汁やおにぎりなどと一緒に食べる焼きイモの味は最高です。今年も無事に開催出来てありがとうございました。



獅子

鳥取中央ライオンズクラブ

会長スローガン 「笑顔でひとつに 奉仕のこころ」

新年のあいさつ



鳥取中央ライオンズクラブ会長 福田佳代子

謹んで新春のお慶びを申し上げます。旧年中は鳥取中央ライオンズクラブの活動にご理解、ご協力を賜り心より感謝申し上げます。本年も何卒宜しく願い申し上げます。

昨年は能登半島での地震、豪雨による災害をはじめ、全国各地で災害が起きました。毎年のように災害が起っておりますが、その都度ライオンズクラブは被災地への支援を行っており、存在意義を改めて認識した1年となりました。

鳥取では大きな災害が起こることは多くありませんが、災害に限らず支援を必要とされている地域、人々へ単L Cまたは6LC合同の活動を通じて、これからも貢献できるよう一層精進していく所存です。

みなさまのご多幸とご健勝を、そして世界が少しでも平和になりますことを祈念いたしまして結びの言葉といたします。



鳥取中央ライオンズクラブ幹事 加藤 貴義

新年あけましておめでとうございます。

認証60年を超える歴史あるクラブに入会させていただき6年目となります。

そのクラブの幹事が務まるのかと恐縮しながら拝命いたしました先輩である福田会長を盛り上げるつもりが、逆に助けていただく事が多く心配とご迷惑をかけている、そんな状況となっておりますが福田会長には本当に感謝しております。

7月から新年度が始まり約半年たちましたが、後半戦に向けて中央ライオンズクラブ及び福田会長を盛り立てて行くよう努力致したいと思っております。

またライオンズクラブ分科会などでもゴルフやお酒の席など例会以外の場面でもクラブの事について相談するなどして皆さんに助けて頂いており、本当に皆さんに感謝をする役どころだと感じております。

若い会員も着々と増えておりますが、クラブの歴史を継承しながら事業に邁進していきたいと思っております。

青谷こども学園さんとの地引網を通じた交流、また沖縄の愛隣園さんへの訪問などコロナにより、なかなか交流が難しい期間もありましたが、今後もそういった事業を継続していき、子供たちの笑顔を絶やさない事の一端を担えれば幸いです。

最後になりますが、今後のクラブの発展と子供たちの未来を祈念いたしまして、新年のあいさつといたしたいと思います。

青谷こども学園との 地引網・バーベキュー交流事業

児童養護施設「青谷こども学園」とは季節に応じて様々に交流を続けており、毎年6月は生き物の大切さを育ててほしいとカブトムシの成虫を飼育ケースに入れて寄贈を、12月にはXmasケーキやお菓子の袋詰め合せなどをもって施設を訪問しています。その中で、日頃できないような体験をと、昨年7月7日（日）浜浦富自治会主催の「地引網大会とバーベキュー」に学園の子ども達、職員の皆さんを招待して当メンバーとその家族も加わり総勢80名で交流を深めました。

当日は送迎担当が午前9時にバスで青谷こども学園に迎えに行き、開催場所の浦富海岸で合流の後、早速二手に分かれて地引網体験をしました。ワクワクしながらロープを引いていきますが炎天下の海辺では体力がいる作業で、やっと網があがると大歓声が沸き一目散に駆け寄っていました。獲れたての魚を刺身でいただきバーベキューも様々な肉に貝類に野菜にと焼いて汗をかきかき真夏の一時を過ごしました。

屋外のため風雨や荒天で地引き網中止に備えて別バーベキュー場を確保したり食材準備や熱中症対策に飲料水・テントなど事前準備から後片づけまで協力して頂いた皆様有難うございました。





第10回鳥取中央ライオンズクラブ 親睦ゴルフコンペ開催

広岩 勝彦

師走に入った12月1日、旭国際浜村温泉ゴルフクラブで親睦ゴルフコンペを参加者(30代から80代)30名で開催いたしました。このゴルフコンペは現役のクラブ会員と退会されていった会員とを繋いでいくために毎年1回開催しています。昨年までは寒い時期の開催にも関わらず参加していただいていた最高齢の山田克己さん、そして佐藤浩尉さんの参加が今回無かったのは残念でした。懐かしい顔に会えるのも元気な姿を見せていただけるのもうれしいものです。開会式では福田会長の挨拶をいただき、全員で記念写真を撮りました。当日は12月には珍しく良い天気でボールを追いかけて歩いて走っていると汗ばむほどで、お昼のビールは各テーブルともかなり進んでいたように見受けられました。スコアは別物で和気藹々とゴルフも終わり成績発表へ。今回は優勝・準優勝・3位までは井崎さんから松葉ガニ・親ガニセット、飛び賞とNP・DCは岸田さんから漬物セット、参加賞は中井さんからあたご梨、また佐藤さん・表さんから提供していただいたゴルフボールはそれなりの方に、そして今回の優勝者は水野由久さん、何故かお馬さんも一人どり。おめでとうございます!皆様から頂いた14,000円はクラブヘッドネーションとさせていただきます。参加していただいた皆様に感謝いたします。

また来年も沢山の参加をお待ちしております。



第35回6LC親善ボウリング大会を終えて

各クラブとの交流の場として6LC親善ボウリング大会が35回目を迎え今回ホストクラブとして運営にあたり、皆様のご協力のもと無事に終えることができ感謝申し上げます。令和6年11月22日(金)鳥取スターボウルにおいて参加人数43名の精鋭が集い各レーンでストライクやスペアではハイタッチの渦が、ガーターではうなだれるも次は!と一喜一憂の熱戦が繰り広げられ、結果は最終ページ記載の通りとなりました。当クラブ個人の部で6位茶谷さん、7位田中元さん、8位廣岩さん、12位江原さん、18位池内さん、団体戦は準優勝のトロフィーを手に入れました。参加された皆様本当に有難うございました。





いなば

鳥取いなばライオンズクラブ

会長スローガン 「思いやりのある奉仕で みんなを笑顔に」

新年のあいさつ

鳥取いなばライオンズクラブ会長 小坂 宏治



新年明けましておめでとうございます。

本年が皆様にとりまして、素晴らしい年となりますよう祈念申し上げます。

今期も半年が過ぎました。この半年間で様々なアクティビティを行ってきました。9/8に鳥取ボーイスカウト日本連盟の子供たちと合同海岸清掃、10/22に鳥取若草学園で園児と大山トムソーヤ牧場の動物とのふれあい「ふふや」の学生たちによる風船アート、シャボン玉遊びをしたり交流会、11/15に日本盲導犬協会島根あさひ訓練センターによる鹿野学園、浜坂小学校への盲導犬キャラバン、そして12/1鳥取こども学園での城北高校・鳥取西中学校相撲部に協力していただいて開催したもちつき大会などです。どのアクティビティでも子供たちの笑顔を見ることができたことがとても良かったと思っています。また、11/14～11/18にはタイのパタヤで開催された第61回東洋東南アジアフォーラムに会員16名で参加いたしました。パタヤフォーラムは、ドレスコードがアロハシャツということで全員がお揃いのアロハシャツで参加しました。開会式の会場では、アジア各国のライオンズメンバーが数千人規模で集まっており、ライオンズクラブが国際色豊かな奉仕団体であることを再認識しました。今期任期の残り半年も、引き続きのご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。



鳥取いなばライオンズクラブ幹事 谷口 博昭

新年明けましておめでとうございます。

穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は皆様のご協力のもと、クラブ運営を行うことが出来ました。

この場をお借りして御礼申し上げます。

鳥取いなばライオンズクラブの幹事という大役を仰せつかり半年がたちました。慣れない幹事の仕事に戸惑いながら少しずつですが、理解をして進めていけるようになりました。

今年度は新型コロナの影響もなく、予定通りにアクティビティの行事を開催することが出来て、幹事として本当にうれしく思います。それも、いなばライオンズクラブ小坂会長筆頭に、役員さん、会員の皆様のご協力があったことだと深く感じています。本年度も残り半年となりました。小坂会長のスローガンでもあります、「思いやりのある奉仕で みんなを笑顔に」を忘れずに、今後の行事に幹事として全力で取り組んで行きたいと思っています。

今年も皆さんと一緒に、楽しく明るく過ごせるよう本年もどうぞよろしくお願いいたします。



第61回東洋・東南アジア フォーラムに参加して

計画委員会理事 宮脇 洋行

11/14～11/17の4日間、タイ・パタオにて第61回目となるOSEALフォーラムが開催されました。鳥取いなばライオンズクラブからは、16名がPEACHコンベンションセンターで行われる開会式に参加しました。パタヤフォーラムでは、開会式のドレスコードが「ハワイアン」であることを受け、お揃いのアロハシャツと白いスラックスを身に付けての参加でした。また、街中やホテルのいたるところに、フォーラム開催を告げるパネルやバナーが展示され、登録ブースは世界各国からの参加者で大変賑わっていました。

開会式会場では、ライオンズクラブ国際協会の336複合地区の席に着き、生演奏を聴きながら開会式を待ちました。そして、開会式では世界各国から参加された議長、ガバナーをはじめとした参加者入場後、ガジット元国際会長とフォーラム委員長、ゲストであるパタヤ市長の3名により銅鐘が鳴らされ、フォーラムの正式な開催が告げられ、セレモニーやパフォーマンスが開催されました。フォーラムでは、写真撮影や他国の参加者とのバッチ交換など交流を行いました。今回初めての参加でしたが、この交流を通じて環境や立場、価値観など自分と異なっている人であっても同じ仲間として心をつなぐことができ、想いを一つにすることができると再認識することができました。今こそ、「誠実」「感謝」「思いやり」の心を持ち、他と協調、協力し1歩1歩進んでいく時なのだと思います。ライオンズクラブ国際協会の国際大会は、ライオンズクラブ国際協会の年次総会で世界のライオンズクラブとレオが参加して交流する1年で最も大きな大会です。次回フォーラムは、2025年10月23日～10月26日札幌にて開催されます。日本での開催です。皆さんと一緒に参加できることを楽しみにしています。



チャーターナイト56周年記念例会開催

計画委員長 野村 祥平

11月21日(木)に鳥取いなばライオンズクラブのチャーターナイト例会を開催いたしました。当日は入会44年を迎える仁保さんから1968年の認証式典に関する貴重な映像をもとに認証式当時の出来事やチャーターメンバー等についてご講和いただきました。また、このたび同映像をDVDとしてデータ化することが出来たので、将来のメンバーのためにもきちんと保管し記録とともに、想いをしっかりと紡いでいきたいと思っております。



6LC親善ボウリング大会二連覇!

計画委員長 野村 祥平

11月22日(金)に6LC対抗のボウリング大会が開催されました。我が鳥取いなばライオンズクラブは予選会を勝ち抜いたメンバーの活躍もあり見事に2年連続優勝を飾ることが出来ました。

また、私個人としても2年連続2位の好成績を収めることが出来ました。来年こそは個人優勝も目指したいです。大会にご参加された皆様、色々ご準備いただいたホストクラブの鳥取中央ライオンズクラブの皆様、大変ありがとうございました。





盲導犬学校訪問

児童・青少年奉仕委員長 笹尾 茂美

11月15日 鳥取市立鹿野学園流沙川学舎と鳥取市立浜坂小学校に日本盲導犬協会から広報担当の原さんと盲導犬のラブラドルレトリバーの雄で4才のナル君が広報活動に来てくれました。鹿野学園では3年生25名・浜坂小学校では3年生110名が体育館で1時間30分の授業を受けていただき、視覚障害のある方が日頃どのように生活されているのか説明がありました。

一つは点字と白杖を使い歩くこと、もう一つは目の見える人に付いて歩くこと、もう一つが盲導犬に付いて歩くことで普通の生活が出来るということです。しかし盲導犬も行き先まで案内してくれるわけではなく、信号の判断もわからないと説明がありました。普段の生活の中で視覚障害の方と出会う機会は少ないと思いますが、もし出会うことがあれば積極的に声を掛けて、困っていることが無いか聞くようにとの話でした。全国に視覚障害のある方が30万人、対して盲導犬は800頭ということで、支援が足りていない状況のようです。また今回の事業が数多くの新聞・テレビで報道されたことは社会の関心を引き込む良い機会だったと思います。参加されたライオンズメンバー、学校関係の方に深く感謝いたします。



鳥取こども学園もちつき大会

児童・青少年奉仕委員長 笹尾 茂美

12月1日 鳥取こども学園で鳥取城北高校相撲部、鳥取西中学校相撲部の生徒さんにも参加してもらい49回目のもちつき大会が天候にも恵まれ盛大に行われました。当日は朝早くから鳥取こども学園の職員さんと鳥取いなばライオンズクラブのメンバーが準備し予定通り9時の開会式が始まりました。早速、臼の周りに人だかりが出来、力強く杵を振り下ろす傍でヨイショの掛け声が響き渡りました。見るからに力のありそうな相撲部の生徒さんがつく餅はすぐに出来上がり次から次と新しい餅米が臼へと運ばれて行きました。鳥取こども学園の児童も一緒に小さな杵をもち一生懸命餅をついてくれました。仕上がった餅はぜんざいや黄な粉で味付けをして、おいしくいただき皆が楽しい時間を過ごすことが出来ました。毎年恒例の事業ですが多くのライオンズクラブのメンバーに参加していただき感謝申し上げます。



持続可能ないなばの森整備 についてSDGS15活動

環境保全委員長 米田 裕子

令和6年11月24日(日)「いなばの森」の整備活動を行いました。この森はクラブ結成40周年を記念し植栽を行った森であり、当初より成長したクヌギ等をシイタケ栽培用に活用し、自然のリサイクルに資する目的でした。その後16年経ち、立派に成長したクヌギ等を本年から計画的に伐採し、萌芽再生へと進めます。当日は、冬模様の雨の中、椎茸栽培農家の協力を得ながら、伐採した重いクヌギ木を運び、また、数百本の伐採枝木を片づける等を行い、会員のチームワークの力の逞しさを改めて感じるほどでした。来春には、会員及び家族と共に、今回伐採した原木へ椎茸菌を打ち込み、椎茸栽培に取り組む事を楽しみにしております。

寒さの中、皆様の力強い協力に感謝をし、「いなばの森」の再生を見守りたいと感じました。





久松

LIONS CLUBS INTERNATIONAL
DISTRICT 336-B 7R-1Z
TOTTORI KYUSHO LIONS CLUB

会長スローガン 「楽しく奉仕 広げよう仲間の輪」

新年のあいさつ



鳥取久松ライオンズクラブ会長 田中 利明

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、輝かしい新春を清々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、元旦早々に能登半島で大きな地震があり、甚大な被害が発生しました。これを受けて2月4日、7R1Zの6クラブ合同による被災者支援の街頭募金が行われ、私も一クラブ員として参加しました。当日は、多くの方々から募金をいただき、またライオンズクラブここにありの姿を市民の皆さんに見ていただき、とてもやりがいを感じました。

7月、新年度になり会長を拝命致しました。早速8月には上杉ZC主催のガバナー公式訪問・合同例会が行われ、私はホストクラブ会長としての出番も多く、冷や汗あぶら汗の連続でしたが、皆様に助けていただきながら何とか務めを果たすことが出来ました。

11月には、336-B地区主催の薬物乱用防止教育認定講師養成講座に幹事の吉森さんと参加しました。心身への影響、薬物犯罪の現状、乱用防止対策等を学習し、晴れて認定講師とさせていただきました。

アクティビティでは、新たに江山学園様から依頼を受け、EM活性液活用事業を行いました。最初に6年生の教室で山田GST委員長が子どもたちに「EM菌」について説明をしたのち、一緒になって培養作業を行い、後日プール投入も行いました。とてもいい奉仕活動になったと思います。

年が変わり、残すところあと半年。会長スローガンの「楽しく奉仕 広げよう仲間の輪」を自問自答し頑張っていこうと思います。



鳥取久松ライオンズクラブ 幹事 吉森 英樹

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては穏やかな新年を迎えられたこと謹んでお喜び申し上げます。

会長が掲げるスローガン『楽しく奉仕 広げよう仲間の輪』を大切に活動しております。アクティビティを楽しく、仲間の輪を広げ、会員増強を日々行っているところでございます。また、鳥取久松ライオンズクラブの活性化を楽しみながら活動を深めていきたいと思っております。

幹事を引き受けてから半年が過ぎようとしておりますが、これからの半期も会員増強に向けてご協力をいただきながら活動ができればと思っています。

会員の皆様には何かとご迷惑をおかけすると思っておりますが、ご指導、ご協力を賜りますようお願いいたします。

本年が皆様にとっていいスタートとなり、より良い年になりますよう祈念申し上げます。



『第49回鳥取市 敬老ボウリング大会』開催

会長 田中 利明

鳥取市敬老ボウリング大会は、敬老の日を前に高齢者の皆さんの健康づくりとふれあいを深めていただくことを目的に昭和48年から行っているもので、コロナ禍で3年ほど開催出来なかった年もありますが、半世紀近く続く鳥取久松LCとして最も歴史ある奉仕活動です。

今年は9月13日、鳥取スターボールで市内36地区の老人クラブから62名の参加を得ての開催です。鳥取市社会福祉協議会の林由紀子会長、鳥取市老人クラブ連合会の山本章会長、当クラブ会長の田中による始球式のあと、貸し切りの19レーンで競い合い、親睦を深めました。

表彰式では、最高齢の霜田智一さん(85歳)と岩本佐知子さん(85歳)にも賞品を贈呈させていただき、笑顔いっぱいの奉仕活動になりました。



『第52回鳥取市剣道大会兼吉川経家祭剣道大会』後援

鳥取市剣道大会は、平成12年に県立武道館が鳥取市に移管され鳥取市武道館と改められ、過去引き継がれていた様々な大会も一新されて、この年に鳥取市の行事として改めて実施されることとなりました。当時は華々しい運動競技も多く存在する中で、日本の剣術を競技化した武道である剣道は、後援団体も少なく資金的にも参加する保護者の負担に帰属するところが多く、ボランティアで継続しているような状況でした。

「礼に始まり礼に終わる」この競技に、青少年の心身を育む場としてサポートしたいとの思いから当クラブの事業として取り組むことになったのが始まりです。当時、小学生部門に無かった優勝旗を作成し第1回目のアクティビティとして贈呈し、以降毎年後援を続けています。毎年11月23日に鳥取城藩主吉川経家を偲んで開催されており、52回目となる今大会には、小・中・高・一般の総勢約200名の選手が参加され、日ごろより鍛えられた技を發揮されました。

剣道の理念は、「剣の理法の修練による人間形成の道である」と説かれていています。子どもたちが剣道を通して多くの仲間と交流し、豊かな心と健やかな体を育むことを願い、今後も支援を続けていきたいと思ひます。





『第47回鳥取市 サッカーフェスティバル大会』の後援

アラート・LCIF・青少年健全育成等委員長 武田 行雄

- ◇2024年11月17日(日)・24日(日)・30日(土)
- ◇於 倉田スポーツ広場(17日・24日)、ヤマタスポーツパーク球技場(30日)
- ◇当日参加者 田中利明 上杉 木谷 吉森 武田 事務局 以上6名

我が久松LCの恒例アクティビティの1つ、鳥取市サッカーフェスティバルの後援事業として、今年も公認試合球、優勝記念品等を贈呈してきました。第47回と歴史あるこの大会は、「…子ども達が心からサッカーを楽しみ、サッカーを通して身体を鍛え、フェアプレーの精神を培い、正しく強く、そして想像力豊かな人間を作ることを目的として…」を趣旨に、(一財)鳥取市サッカー協会の主催で毎年開催されています。我が久松LCは、この大会趣旨に賛同するとともに、鳥取のサッカーの盛り上がりにつながればとの思いで、1985年の大会から優勝旗やペナントを贈呈するなど後援活動に取り組んでいます。今年の大会は、30チーム参加の下17日・24日に予選リーグを行い、勝ち上がった8チームにより30日に決勝トーナメントが行われました。17日・24日の予選は、雨が降るなど悪天候に見舞われましたが、30日は寒いながらも時折小雨が降る程度のまずまずのコンディションの中、芝生の緑鮮やかなヤマタスポーツパーク球技場を舞台に、寒さを吹き飛ばす熱い戦いが繰り広げられました。参加された選手の皆さん、保護者の皆さん、大会運営の皆さん、大変お疲れ様でした。

鳥取のサッカーといえば、かつては第41回山梨国体(1986年)の成年男子の部で優勝するなど、人口全国最小県でありながらもサッカー強豪県として知られ(個人的な意見です)、現在もプロサッカーチーム「ガイナレ鳥取」がJ3で頑張っています。鳥取市サッカーフェスティバルに集う子供達が、将来、鳥取から全国へ、そして世界へ羽ばたく選手に育って行くことを願っています。

◇大会結果 優勝 KFC 準優勝 八頭B 3位 賀露、智頭



6LC合同アクティビティ [街頭献血] 実施

- ◇2024年11月24日(日) 於イオン鳥取北店
- ◇献血できた方40名(16,000cc) 受付総数:51名



鳥取久松しろやまクラブ支部 ものづくり交流会『金継ぎ』

- ◇2024年12月8日(日) 10:00~12:00 於上杉邸
- ◇講師:支部会員 上杉一恵
- ◇参加者:支部会員4名、親クラブ会員家族1名
事務局



千代

会長スローガン 「小さなクラブ 絆は深く 魅力は無限大」

新年のあいさつ

鳥取千代ライオンズクラブ会長 尾崎 一芳



新年おめでとうございます。

今年のスローガンは「小さなクラブ 絆は深く 魅力は無限大」会員数が減少している中でも、千代ライオンズクラブの絆は一層深まり、一人一人の力を結集することで、大きな変化をもたらすことができると信じています。皆様の知恵と経験をお借りし、充実したクラブ活動を継続したいと考えております。

今年度、新たに眼鏡リサイクル事業を開始しました。この活動は、不要となった眼鏡を回収し、視力が必要な方々に届けることで視力を改善し、同時に環境負荷を軽減することを目指しています。また、日本語学校の留学生との交流も進めました。留学生からは、温かい感想をいただき、今後もつながりを深めてまいります。

今後も活動を通じて、クラブの絆を深め、地域に貢献できるよう努めてまいります。

会員数の増加も必要ですが、クラブの魅力を保ち、団結力を高めることが最も重要だと考えております。これからも時代の変化に対応し、進化し続けるクラブでありたいと思います。

今後とも、ご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、会員の皆様におかれましては、今年も一層のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。



鳥取千代ライオンズクラブ幹事 山田 啓

新年あけましておめでとうございます。皆様、大変お世話になっております。鳥取千代ライオンズクラブ、本年度幹事の山田啓と申します。私は、新型コロナウイルス感染拡大の真っ只中、令和2年11月に当クラブへ入会しました。あっという間に、入会してから丸4年が経ちましたが、これまではコロナ禍での飲食イベントの制限や参加人数の制限などがあったため、ライオンズクラブとして、活動らしい活動が、全く思うようにできませんでした。さらに残念なことに、年々、当会会員の数が減少しており(現会員数12人)、誠に不本意ではありましたが、大変寂しいライオンズクラブ生活を送って参りました。しかしながら、コロナ禍も過ぎ去り、本年度は尾崎会長の下、「小さなクラブ、絆は深く、魅力は無限大」のスローガンを掲げて、当クラブ全会員が、各LC大会やアクティビティへの参加、会員の増強に取り組んで、クラブの危機を乗り越えたいと意欲満々です。



「国際平和ポスターコンテスト参加」

市民奉仕委員長 安部 裕子

この度、私たち鳥取千代ライオンズクラブは、鳥取市立若葉台小学校6年生児童33名のご協力を得て、国際平和ポスターコンテストに参加させていただきました。

そして11/6から11/8までの3日間、鳥取市文化センターに掲示されてもらいました。子供達が描いた作品は、独自の視点で描かれた平和の形があり、驚かされると同時に心が温かくなりました。子供達の平和への思いに触れることで、私自身も新たに平和について考えさせられました。

子供達は一人ひとり、自分の思う平和を色や形で表現していて、空を舞う白いハトや、手を取り合う人々、笑顔でいっぱい地球など、どの作品も見ると人の心を温かくするものでした。一枚一枚のポスターには、子供達の希望と想いが詰まっており、それはまさに未来へのメッセージそのものだと感じました。残念ながら地区選考会では入賞出来ませんでしたが、このような素晴らしい作品を描いてくださった若葉台小学校6年生児童の皆様には心から感謝致します。そして、未来を担う子供達が描いた平和の絵が、より多くの人々に希望を届けることを心から願っています。



「チャリティバザー」

社会福祉委員長 伊藤 裕恵

今年もやりました。第24回チャリティバザー。鳥取市の花のまつりと木のまつりの開催に合わせて餅をついております。今年の木のはなまつりは11月3日、3連休ど真ん中に開催されました。11月2日のお天気は、雨はザンザン降り、風も強く吹いている荒天でしたのでホントに開催できるのかなあと心配しておりました。前日の大荒れの天気が収まり、当日はまずまずの天候に恵まれました。準備、作業と餅が出来上がるまでの工程は結構大変なのですが、この餅が好評で、作るそばからお買い求め頂けていることはやりがいもありますし、やはり嬉しいですね。今年尾崎会長の発案で、智林日本語学校に通う生徒さんが作るスリランカ



カレーの販売をサポートする事になりました。初の試みだったのですが、スリランカカレーはお客様にも好評で、そして日本語を学ぶスリランカ出身の生徒さんからも良い経験させてもらったと喜ばれました。こうしてお役に立てたことも嬉しく思います。体力的にも大変ですが、続けていけたら良いなあと考えています。We Serve!!



眼鏡リサイクル事業の取り組みについて

会長 尾崎 一芳

世界には、視力の問題を抱えながらも経済的な理由や地域的な制約により眼鏡を入手することが難しい方々が数多く存在します。一方で、私たちの身近には不要となった眼鏡が数多く眠っています。

この「眼鏡リサイクル事業」は、そうした不要な眼鏡を回収し、必要な方々へ届けることで「見える喜び」を広げ、同時に環境負荷を軽減することを目的とした取り組みです。

眼鏡は日常生活において重要な役割を果たすアイテムですが、視力の変化や新しいデザインへの変更により、不要となる場合が多くあります。不要となった眼鏡の多くは廃棄され、埋立地に送られる現状がありますが、適切な手入れを施せば再利用可能な状態を保つ眼鏡も多いのです。そこで私たちは、この「眠れる資源」に注目し、眼鏡リサイクル事業を開始しました。現在、公共施設、地域コミュニティ、眼鏡店、学習塾、学校などに回収ボックスを設置し、不要な眼鏡の回収を進めています。

一定期間経過後に、眼鏡を回収し、眼鏡リサイクリングセンターに送り、選別され、状態に応じて修理や再加工が行われます。使用可能なものは新たな利用者へ提供され、再利用できないものは材料としてリサイクルされます。これにより、多くの方々が視力を取り戻し、生活の質を向上させる手助けをしています。

この「眼鏡リサイクル事業」を通じて、より多くの人々の笑顔を生み出し、明るい未来をつなぐ活動を続けてまいります。今後ともご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



砂丘

TOTTORI SAKYU LIONS CLUB
LIONS CLUBS INTERNATIONAL DISTRICT 336-B 7R-1Z



会長スローガン 「一寸奉仕」

新年のあいさつ

鳥取砂丘ライオンズクラブ会長 野藤 晃寿



新年あけましておめでとうございます。

昨年正月は、能登半島地震という大きな災害が印象に残る幕開けとなりました。私たちライオンズクラブメンバーも、微力ながら募金活動等で支援いたしました。その後の豪雨災害も重なり、まだまだ本来の生活を取り戻していない方々が沢山おられることに心を痛めます。

私のスローガンは『一寸奉仕』。

「小さなことから始める」「小さな奉仕を積み重ねる」を目標にしてきました。そして去年は徐々に仲間も増えました。

予定していた大きなアクティビティの一つでありますチャリティーバザーが大雨のため残念ながら中止となりましたが、前日までの準備・段取りは完璧でさらに結束が強まったと思います。

あと半年という限られた私の任期ではありますが、ヘタなりにも精一杯頑張りますので皆さん宜しくお願い致します。本年が皆様にとりまして健康で幸せに満ちた素晴らしい一年となりますようお祈り申し上げます。

鳥取砂丘ライオンズクラブ幹事 前田 康一



新年あけましておめでとうございます。幹事を拝命することとなり、半年が過ぎました。諸先輩方からの助言、ご指導いただきなんとかやってきました。本年も引き続きよろしくお願い致します。

これから会期末まで様々なアクティビティ・エクスカージョンが予定されています。当会員皆が一丸団結して取り組んで行きたいです。また、11月に予定していたチャリティーバザーが天候不良のため日程変更となりましたが春に再度チャレンジです。実行委員会のメンバーはいろいろ大変ですが無事開催できることを願っております。

残り半期の期間の幹事職ですが引き続き皆様よろしくお願い致します。



街頭献血を終えて

環境保全・保健福祉・アイヘルス委員会 委員長 山本 典浩

ライオンズクラブ社会奉仕の大切なひとつとして10月20日(日)に街頭献血活動を実施しました。赤十字血液センターの皆様の指導の下、誰かの命を救う一助の為に多くの方の協力を目の当たりにし、社会貢献の大切さを実感しました。改めてご協力ありがとうございました。

尚、午前の部、午後の部と分かれていましたが我がクラブの会員21名、そして応援参加して下さった看護大学の学生5人の合計26名での活動でした。お疲れさまでした。



秋の鳥取砂丘一斉清掃に参加して

環境保全・保健福祉・アイヘルス委員会 副委員長 大坪 法子

2024年10月6日(日)の山陰海岸ジオパーク(秋の鳥取砂丘)一斉清掃お疲れ様でした。 晴れの日で秋風を感じながら 2人ペアで1枚のゴミ袋を持ち清掃スタート!!

歩けど歩けどそれほどのゴミは落ちてなく綺麗、こどもの国方面に向けてひたすら歩き大きな発泡ゴミが有り、袋がいっぱいになりました。集合場所に戻り分別作業もしました。

Lメンバー並びにお子様と一緒に活動が出来、爽やかな汗をかきました。

皆様ありがとうございました。





EM活性液プール散布を終えて

環境保全・保健福祉・アイヘルス委員会 委員長 山本 典浩

毎年の行事として、今年もこの時期10月末に鳥取市立散岐小学校にてEM活性液の散布を行ってきました、今回は6年生7人と我々会員14名での活動となりました。EM活性液は環境浄化に役立つ微生物群として知られています。プールの水質改善や悪臭の軽減に効果が期待されますが今回参加の6年生は来年の掃除の時期には中学生ですので残念ながら参加することができません。ただ少し大げさですが人生の貴重な経験になったことを期待します。

参加された会員の皆様お疲れさまでした。



バザーの延期のお知らせについて

第23回チャリティーバザー実行委員長
仲山 昭彦

2024年11月2日に鳥取駅前風紋広場で開催予定だった鳥取砂丘ライオンズクラブのチャリティーバザーは、大雨のため中止しました。

カラオケ練習、焼きそば調理練習など、事前準備はしっかり行いましたが、天候には逆らえません。改めて、2025年4月5日(土)に「第23回チャリティーバザー」を実施いたしますので、よろしくお願いいたします。



田中工業(株)にて、焼きそば(鉄板)講習会を行いました。

新会員紹介

※2024年7月～12月末

鳥取中央 LC



クサ カリ ヤスヒロ
草刈 康弘

入会月 7月
スポンサー 西川 正克



ナカ シマ ケンジ
中島 建治

入会月 10月
スポンサー 廣岩 勝彦

鳥取久松 LC



イガラシ ユウダイ
五十嵐 雄大

入会月 9月
スポンサー 吉森 英樹



カワイ トシオ
河井 登志夫

入会月 11月
スポンサー 上杉 榮一

鳥取いなば LC



ナカ ガキ ユウジ
中垣 裕二

入会月 8月
スポンサー 小坂 宏治



タカ ガキ トシヒロ
高垣 紀宏

入会月 12月
スポンサー 清水 康一



フジワラ ナオト
藤原 直人

入会月 12月
スポンサー 宮脇 洋行

鳥取砂丘 LC



トミタ ミツマサ
富田 光政

入会月 7月
スポンサー 聲高 昌可



カワカミ マサヒコ
河上 雅彦

入会月 9月
スポンサー 聲高 昌可

第35回 6LC親善ボウリング大会成績表

2024年11月22日(金)鳥取スターボウルにて

団体の部

〔優勝〕	鳥取いなばライオンズクラブ	1,412点
〔準優勝〕	鳥取中央ライオンズクラブ	1,365点
〔第3位〕	鳥取砂丘ライオンズクラブ	1,309点
〔第4位〕	鳥取ライオンズクラブ	1,237点
〔第5位〕	鳥取久松ライオンズクラブ	1,177点
〔第6位〕	鳥取千代ライオンズクラブ	1,125点

個人の部

〔優勝〕	蓮佛 進 (鳥取砂丘LC)
〔準優勝〕	野村 祥平 (鳥取いなばLC)
〔第3位〕	鶴石 健治 (鳥取LC)
〔第4位〕	吉野 恭介 (鳥取千代LC)
〔第5位〕	霜田喜三郎 (鳥取いなばLC)
◇飛び賞	10位、11位(当月賞)、20位、22位(当日賞)、30位、40位、BB賞

あとがき



ライオンズクラブの活動を続けて25年になりますが、米子グレート時代を含めて、その大半を広報担当で過ごしました。半分の期間は、毎月発行していたと思いますが、時代の流れで隔月になったり、今や季刊になったりしています。印刷は印刷会社に任せることがほとんどでしたが、昨年からはすべて手づくりになりました。手づくりとは言っても手書きではなく、パソコンを使った編集になります。部数も50部ほどですのでカラーコピー機があれば全面カラーで簡単に印刷できます。

クラブの広報誌には、活動予定を周知することのほかに活動内容を記録するという重要な役割があります。周年誌などを作る時に定期発行の広報誌があるとその重要性に気が付きます。また、先輩諸氏の活動を知る上でも欠かせないものだと思います。各クラブで広報誌を担当している方々にエールを送りたいと思います。各クラブの皆様方には、MC委員から原稿依頼があった場合には、積極的にご協力いただきますようお願い申し上げます。

鳥取LC MC委員長 山名 立洋



新年あけましておめでとうございます。合同会報誌発行への皆様のご協力を厚く御礼申し上げます。

合同会報誌の発行は各クラブの活動を改めて知り得る絶好の機会として、新たな刺激をいただきました。これらの活動をより広くPRできるよう鳥取中央LCでは今年度HPのリニューアルと公式Instagramの開設を行いました。今後も活動の後押しとなるようPRに努めてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

鳥取中央LC PR・会報委員長 宮本亜希子



新年を迎えて、会員の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。さて、新年を迎えるにあたり、今年は会員間の交流を深められる機会を積極的に創出していきたくと考えております。会員間の交流を深め、尊重し合うことを通じて、組織全体の活性化を図ってまいります。

本年も皆様にとって素晴らしい一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

鳥取いなばLC 指導力・会報委員長 富田 知史



今期も半年を過ぎようとしています。我がクラブも昨年10月24日にCN54周年例会を記念例会として祝賀会を行いました。クラブの活動も54年の頁を捲って見ますと社会の変化と共に必要とされる奉仕が変化しているのがよく分かります。市民社会にまだまだ必要な事業からひとの身体を豊かに育むアクティビティまで。東京～箱根を往復する学生駅伝のように、また、地域で継続されている各種の事業、そして世界からここ鳥取でのLIONS活動の全てメンバーが替わってもメンバーの増減があっても奉仕活動で変化を求めながら“たすきを継続”して行く事を2025新年に誓って “We serve”

鳥取久松LC MC委員長 吉川 利雄



新年あけましておめでとうございます。

昨年は新年早々に大地震に襲われ、北陸では大変な一年となりました。

コロナによる制限も気にすることなく、やっと普通の生活を取り戻すこととなり、アクティビティも各クラブが活発に行動ができました。今年はもっともっと充実した年となる様にならば幸いです。

鳥取千代LC PR委員長 丸山 直正



2025年の幕開けにあたり、心からのご挨拶申し上げます。昨年も、多くの方々のご支援とご協力を賜りながら、鳥取砂丘ライオンズクラブとして地域社会に貢献する活動を進めてまいりました。

中でも、砂丘一斉清掃や福祉支援アクティビティを通じ、クラブの団結力と会員一人ひとりの成長を実感する年となりました。

今年も「We Serve」の精神を胸に、地域社会への奉仕の輪を広げていく一年にしたいと考えております。

皆様のご多幸をお祈りするとともに、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

鳥取砂丘LC PR会報・情報大会委員会・MC委員長 竹中 淳